

鳥羽市・サンタバーバラ市
学生交換派遣事業

ホームステイ
体験記

市民課人権・市民交流係 ☎(25)1126



市内の中学生4人が7月26日～8月6日にかけて姉妹都市サンタバーバラ市を訪れ、8月8日～16日にはそれぞれの家庭がサンタバーバラ市の中学生を受け入れました。

すばらしい体験をした中学生のみなさんにホームステイ先での体験について感想をいただきました。

サンタバーバラでの思い出
鳥羽東中学校3年 木下 開陽

僕は、兄がサンタバーバラに行ったのに憧れて応募した。行ってみると想像を超える楽しさがあった。

僕は、アントニオの家に泊まった。ものすごく大きなプールがあった。初めは、緊張して、会話もあまり続かなかった。でも、アニメの話や好きなゲームの話などを通して、どんどん仲良くなった。言語の違いという壁もすぐに無くなり、たくさん会話ができた。

一番の思い出は、海だ。初日の夕方に海を見せてもらった。鳥羽の波とは違いものすごく激しかった。でも、アントニオに「アメリカではこれが普通だ。」と言われとても驚い



た。海で泳いだとき、鳥羽は

すぐに足が着かなくなるので、遠くに行くのは怖いなと思っていたら、アントニオがどんどん深いところに泳いで行くのでついていくと、全然深くならない。だいぶ遠くまで行ったり、泳いだり、ボディーボードに乗ったりした。とても楽しく、おもしろい時間だった。

僕の兄がホームステイしていたアレックスの家で夕食も食べた。夕食を準備している間にアレックスが鳥羽で作ったものや写真、思い出話を聞かせてくれてとてもうれしかった。僕もアントニオとこんな

ふうになりたいと思った。

アメリカでの体験は、自分の知らない世界を見るいい機会だった。三年生の夏にこの事業が復活し、行くことができてもうれしかった。関係者のみなさん、引率の優さん、本当にありがとうございました。

サンタバーバラでの思い出
加茂中学校2年 岩崎 杏奈

サンタバーバラではいろんな人がフレンドリーで、毎日過ごすのがとても楽しかったです。

シャーロットの家ではお母さんが作ってくれるおいしいご飯を食べました。アメリカのランチは軽いご飯でスープやサンドイッチ、リングなどでした。食に関する話だと、やっぱりアメリカといえばハンバーガー！ハンバーガーしか頼んでないのにポテトがついてきました。わたしは気になってシャーロットに「ハンバーガーはポテトとセットなの？」と聞くとそうだと聞いていました。多いけどおいしいから最高です！シャーロットはおすすめのアイスを教えてくださいました。甘くてとてもおいしかったです。私は普段か

らよくおなかを壊してしまいましたが、サンタバーバラでもそうだった時、シャーロットのお母さんがキャンディーを溶かしたお湯をくれました。とても心配してくれて、私の体調を優先してくれました。

ある日の朝ごはん、シャーロットの友達と外に食べに行きました。その後ショッピングに行きました。私はダンスが大好きなので友達に簡単なダンスを教えました。しゃべるだけじゃなく、踊ることで気持ちがあがった感じがしました。通りかかる人も笑顔になっていました。

フィエスタというお祭りがありました。このお祭りでは卵の殻にカラフルな紙切れが入ったおもちゃがたくさん売られています。その卵を友達



や家族の体にぶつけて割りま
す。痛くはなく、とても楽し
かったです。こんな祭りがあ
ることすらも知らなかったの
で、体験できてよかったです。

女子だけのお泊まり会があ
りました。特にかくれんぼが
とても楽しかったです。真っ
暗の中スタートし、見つける
たびに笑いが起きるのがとて
も面白かったです。英語のし
ベルが高くなくても、とても
仲良くすることができました。

サンタバーバラを離れる時
悲しすぎて家を出た時から涙
目でした。バスに乗るまでは
頑張つて堪えたけど、乗る瞬
間泣いてしまいました。また
実際にサンタバーバラに行つ
てみんなに会いたいです。

とても素晴らしい経験がで
きました。協力してくれたかた
がたありがとうございます。

念願のサンタバーバラに行つて

鳥羽東中学校3年 鹿島田 織穂

私がこの事業に参加したい
と思った理由は、母が私くら
いときに、同じ場所、サンタ
バーバラに行ったときの話を
聞かせてくれたからです。思
い出話を聞いているうちに、だ
んだんとその街に興味湧き、



行つてみたいと思うようにな
りました。

出発日は丸一日移動に費や
しました。ロサンゼルス空港
に着いたときは、周りの声が
英語、英語、たまに日本語。テ
ンションが上がりました。ア
メリカに来たんだ！と。

バスでサンタバーバラに移
動し、エマと対面しましたが、
仲良くなれるか不安でしたが、
思っていたよりも自分とエマ
の性格が似ており、すぐに打
ち解けることができました。

あるとき私に、スーパーマー
ケットに行くけどどうする？
と、エマのお母さんが聞いて
くれました。私は行きたい、見
てみたい、と言いました。スー
パーに行つてみると日本とは
かなり違っていたため、全て
が新鮮で面白かったです。

それからは、街をドライブ
させてもらったり、海に行つ
たり、ダチョウを見たり、地元
の祭りに参加したり、他にも
たくさんのことをしたりしま
した。時間があつたという間に
過ぎていきました。ずっと居
てもいいくらいに心地よかつ
たです。

彼女たちの文化や習慣は、
私たち日本人とは全く異なつ
ていました。しかし、その違
いこそが面白く、興味深かつ
たです。そして、私に新しい
視点や価値観を与え、私自身
を成長させてくれました。

サンタバーバラ交流事業は、
私にとつて忘れられない思い
出となりました。最後に、こ
の機会を与えてくださったみ
なさん、ありがとうございます。

サンタバーバラの思い出

鳥羽東中学校3年 橋爪 敦哉

私がサンタバーバラに到着
すると、まずホストファミリー
が笑顔で迎えてくれました。
おいしいハンバーガーシヨッ
プに連れて行ってもらい、そ
こでお互いのことについて紹
介しました。

ホストファミリーの家で特

に印象に残っていることは、
家族みんなでおにぎりを作つ
たことです。たくさんのおにぎ
りを入れて、作るおにぎりはとて
もおいしかったです。出発す
る前に「アメリカのおいしいも
のを食べたい」と話していたの
で、滞在中の食生活は充実し
ていました。

ザンダー君の水球の練習に
ついて行つたとき、私も初め
て体験させてもらいました。
最初は簡単だと思つていたけ
れど、やってみると長く泳ぎ
続けることさえ難しく感じま
した。でも、コーチに直接指
導してもらつたり、チームメ
イトと実際にゲームをしたり
して次第に楽しくなつていき
ました。

海では、ボディボードを
使って波乗りも経験できまし
た。遠浅のビーチだったので、
とても泳ぎやすかったです。

帰国する日には、今回お世
話になったホストファミリー
のみんなとハグをしてお別れ
をしました。サンタバーバラ
のみなさんも鳥羽から来た私
たちにたくさん手を振ってく
れました。今でも、ついさつ
きのことのようにザンダー君
とホストファミリーの顔が思

い出されます。

私が高年のサンタバーバラ
との交換派遣事業に参加して
思ったことは、人と言葉に壁
はないということです。私は
アメリカでたくさんの人と話
しました。初めは身ぶり手ぶ
りを交えながら会話をしてい
ましたが、そのうちお互いが
わかり合えるようになり、い
つの間にか会話がスムーズに
できるようになりました。お
互いの言葉が違うものの、同
じ人間であることには変わり
はありません。だから、誰が
どこに行つてもお互いにわか
り合えれば何も問題は起こら
ないということを感じました。
鳥羽市の関係者のみなさん、
今回サンタバーバラでホーム
ステイをする機会をくれて、本
当にありがとうございます。
私と同じような経験をもつと
他の人にもしてもらいたいと
思います。

